

大阪教育大学附属天王寺中学校評価資料
—生徒，保護者，教師を対象とする調査結果—

平成30年3月

(1) 調査内容

調査は、生徒、保護者、教員を対象に実施し、次の内容について回答を求めた。

【生徒・保護者用】

- Q1 中学・高校の別
- Q2 性別（生徒の性別）
- Q3 学年
- Q4 組
- Q5 SSH 科目受講の有無

生徒：「学校のように、あなたの1学期から今までの学校生活を振り返ってどう思いますか」

保護者：「学校のようにお子さまの1学期から今までの学校生活をどう思われますか。」

1：そう思わない、2：あまりそう思わない、3：少しそう思う、4そう思う

- Q6 この学校は、学校の考え方や目標をきちんと生徒に伝えている。
- Q7 この学校の先生は、生徒に興味・関心を持たせるため、授業に工夫をこらしている。
- Q8 この学校の生徒は、お互いを認め尊重しあっている。
- Q9 この学校では、先生と生徒がよく信頼しあっている。
- Q10 この学校は、生徒が成長するのにふさわしい環境である。
- Q11 将来の目標を持ち、それに向けて努力している。
- Q12 興味・関心を持って授業を受けている。
- Q13 学習において、予習・復習や課題の提出などに、普段から努力している。
- Q14 他の人の話をよく聞くことができ、また自分の考えを他の人に伝えることができる。
- Q15 よく観察して調べたり、物事を考えたりという、探求の活動に積極的に取り組んでいる。
- Q16 私は他の生徒と協力して活動している。
- Q17 学校で、まわりの人を大切にしている。
- Q18 学校で、挨拶や礼儀に気を配って生活している。
- Q19 学校の決まりごとをよく守っている。
- Q20 学校でやりたいことができ、生活が充実している。
- Q21 今、学校生活において心配や、悩んでいることは特にない。
- Q22 この学校のことを誇りに思っている。

【教師用】

Q1	中学・高校の別
Q2	性別
Q3	SSH 関連授業の担当の有無
「1学期から今までのご自身の教育活動を振り返ってください」	
1：そう思わない， 2：あまりそう思わない， 3：少しそう思う， 4そう思う	
Q4	生徒に将来の目標を持たせ，それに向けて努力させている。
Q5	探求的な活動を意識して，生徒に積極的に取り組ませている。
Q6	読解力や表現力の育成を意識して，生徒を指導している。
Q7	生徒に興味・関心を持たせるため，授業に工夫をこらしている。
Q8	予習・復習や課題の提出など，普段から生徒に努力させている。
Q9	生徒のようすをよく把握しながら指導や相談への対応ができています。
Q10	他の生徒と協力して活動するよう指導している。
Q11	人権を尊重した仲間作りを意識して指導している。
Q12	時間を意識した生活をするよう指導している。
Q13	学校にふさわしい服装を意識した生活をするよう指導している。
Q14	教室などの整理整頓や美化を意識した生活をするよう指導している。
Q15	生徒が充実した生活を送れるように努力している。
Q16	本校の教育目標を理解して教育活動を行っている。
Q17	自分の指導目標や考え方は生徒に理解されている。
Q18	保護者への対応は自信を持ってできている。
Q19	職場環境を良くするよう努めている。
Q20	熱意を持って日々の仕事に取り組んでいる。

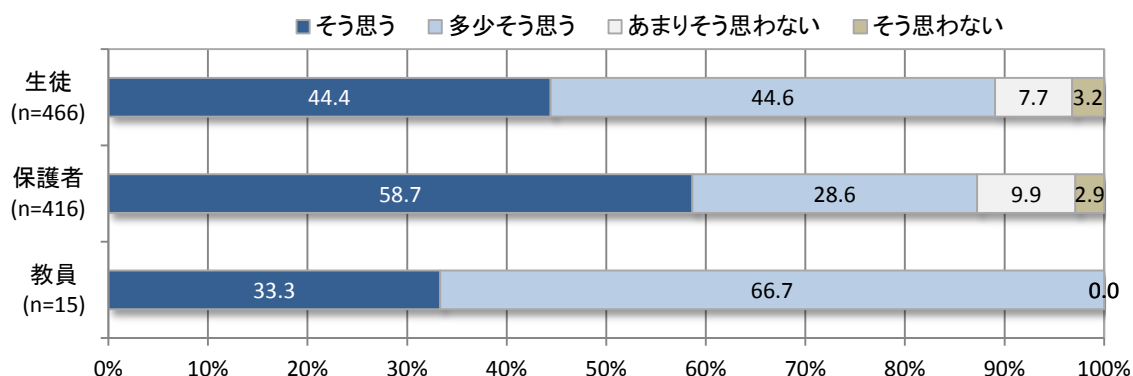
(2) 回答者数

対象ごとの有効回答者数は下表のとおりである。

対象	性別			学年				合計
	男性	女性	無記不明	1年	2年	3年	無記不明	
生徒 (n=466)	232 49.8	234 50.2	0 0.0	156 33.7	151 32.6	155 33.5	1 0.2	466 100.0
保護者 (n=416)	202 48.6	213 51.2	1 0.2	150 36.0	131 31.5	135 32.5	0 0.0	416 100.0
教員 (n=15)	9 60.0	6 40.0	0 0.0	- -	- -	- -	- -	15 100.0
全体 (n=897)	443 49.4	453 50.5	1 0.1	306 34.2	282 31.4	290 32.3	1 0.1	897 100.0

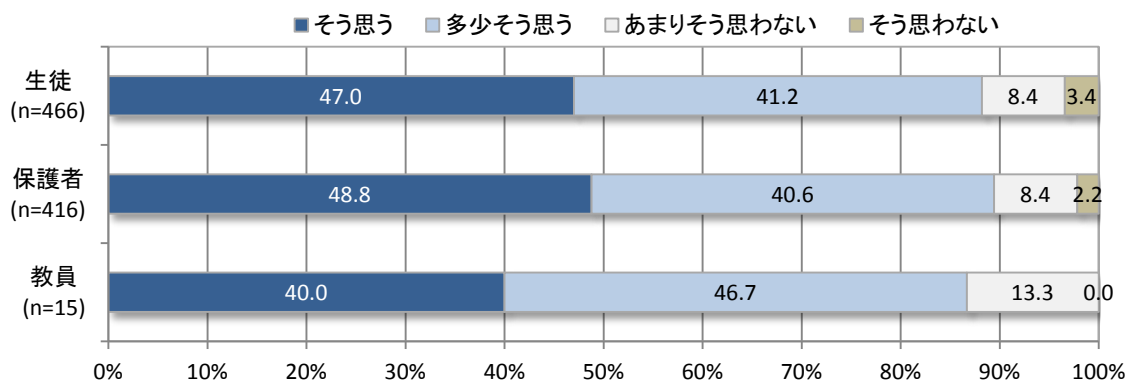
(3) 学校生活にかかわる自己評価の（クロス集計）結果

① 将来の目標 (p<0.01)



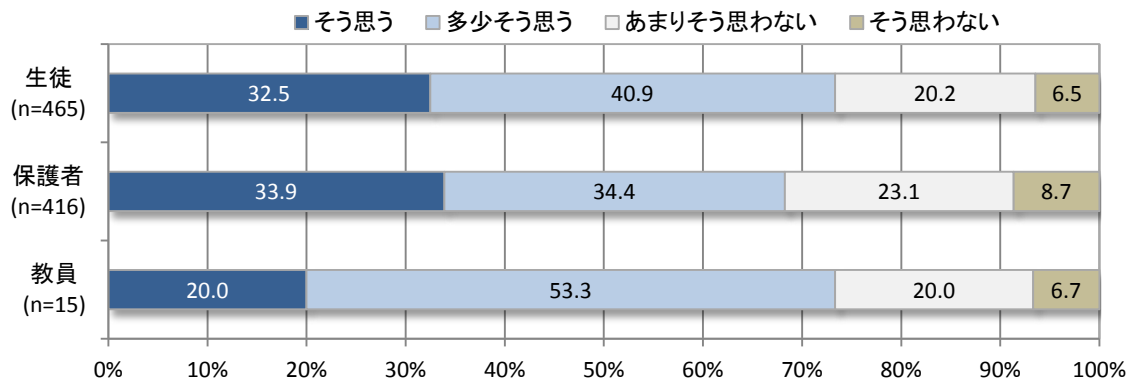
教員は全員が肯定的な回答をしており、生徒、保護者とも8割以上が肯定的な回答となっている。

② 授業の工夫



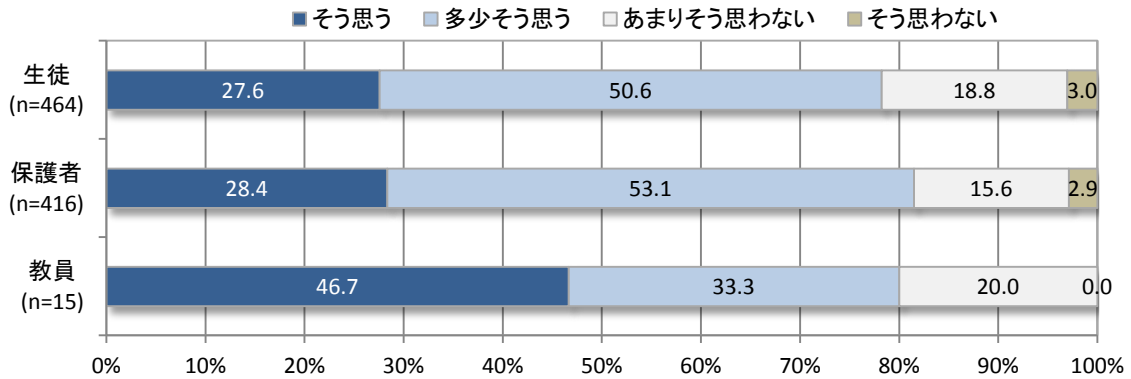
生徒、保護者、教員とも肯定的な回答の比率が8割を超えている。

③ 予習復習



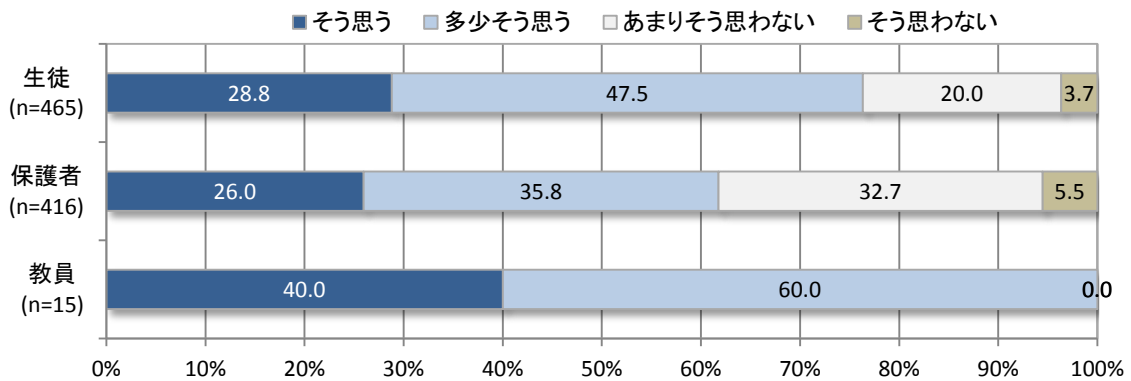
生徒、保護者、教員とも肯定的な回答の比率が、7割前後であり、保護者がやや低い。

④ 読解力や表現力



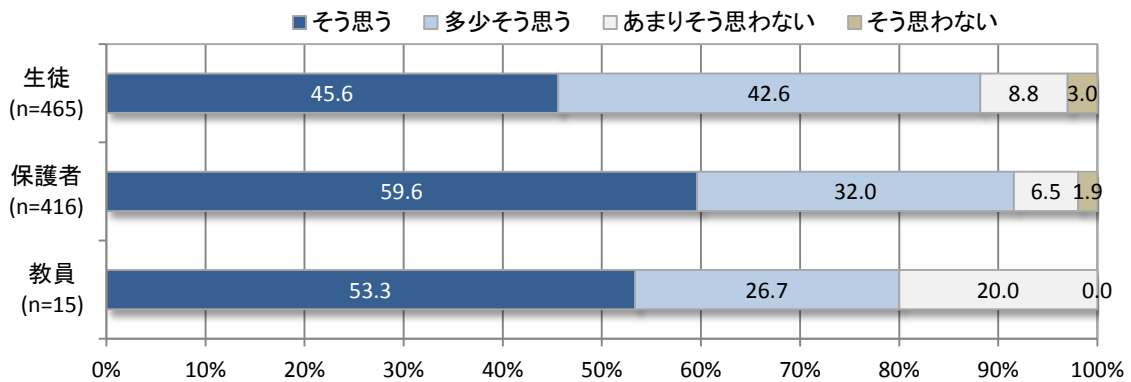
肯定的な回答の比率が、生徒、保護者、教員ともほぼ8割となっている。

⑤ 探求的な活動 (p<0.01)



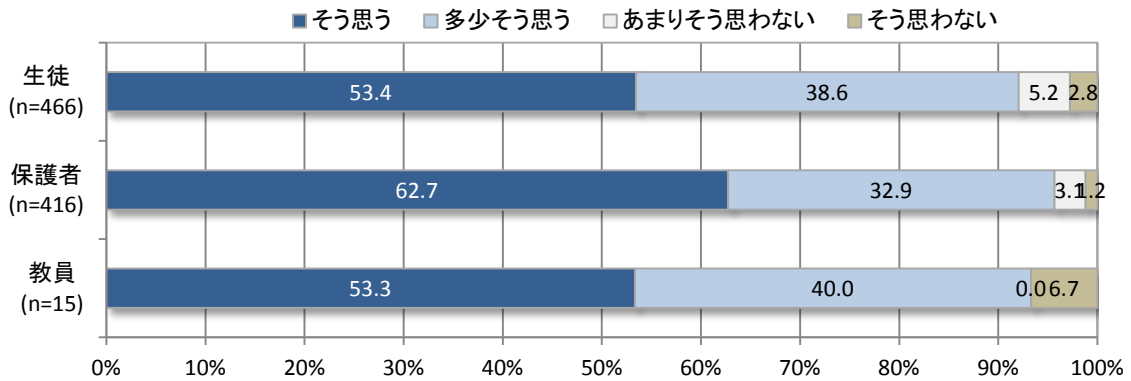
教員は全員が肯定的な回答をしているが、生徒の2割強、保護者の4割弱が否定的な回答をしている。

⑥ 他の生徒と協力 (p<0.01)



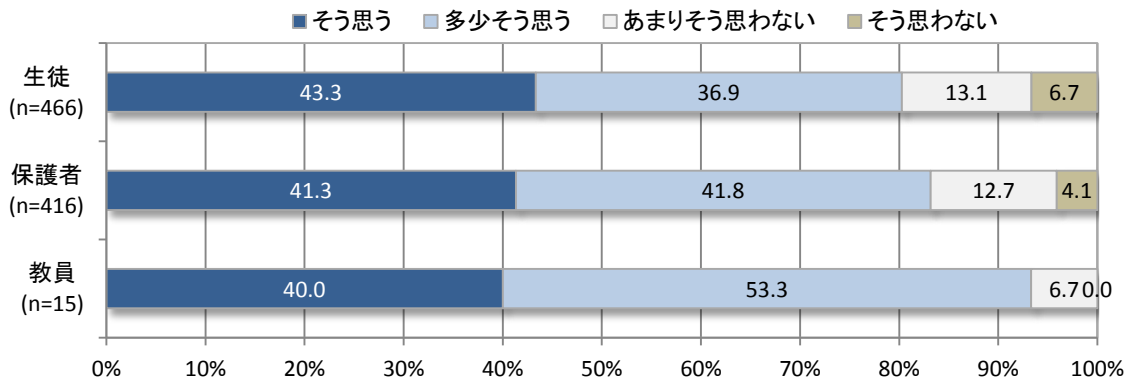
生徒、保護者のおおよそ9割、教員の8割が肯定的な回答をしている。肯定的な回答率は教員が若干低めである。

⑦ 人権を尊重した仲間作り



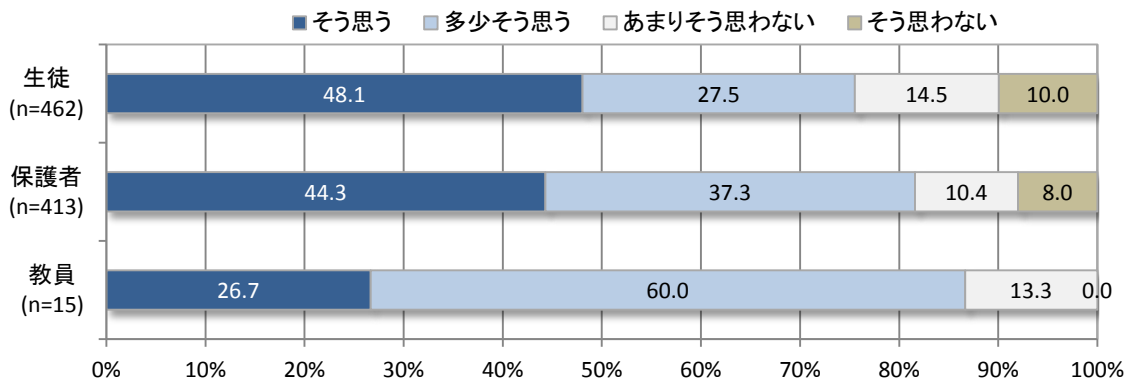
生徒，保護者，教員とも肯定的な回答が9割を超えている。

⑧ 充実した生活



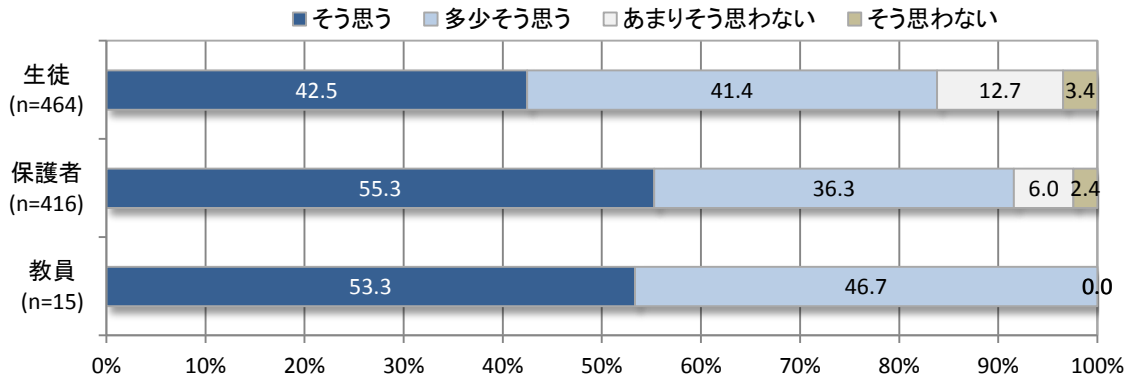
生徒，保護者の8割以上，教員の9割以上が肯定的な回答をしている。

⑨ 生徒の様子への把握 (p<0.01)



保護者，教員とも8割以上が肯定的な回答をしているが，生徒の四分の一は十分に様子を把握されているとは感じていない。

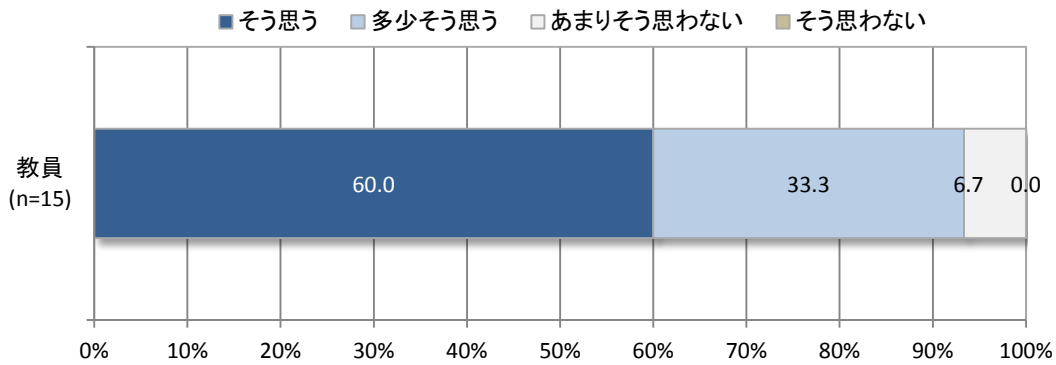
⑩ 決まりの遵守(p<0.01)



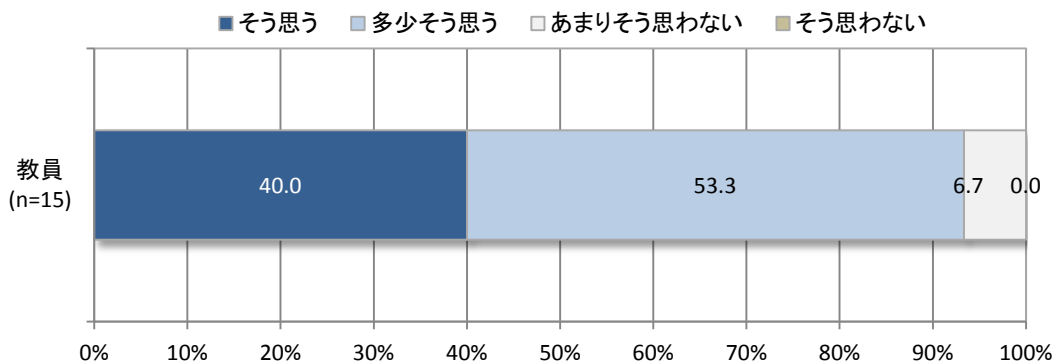
生徒の8割、保護者の9割、教員の10割が肯定的となっている。

注) 教員の「決まりの順守」は、教師用の「時間を意識した生活を指導している」「身なりを意識した生活を指導している」「教室の整理整頓を意識した生活を指導している」の3つの質問に対する回答の平均で代用した。

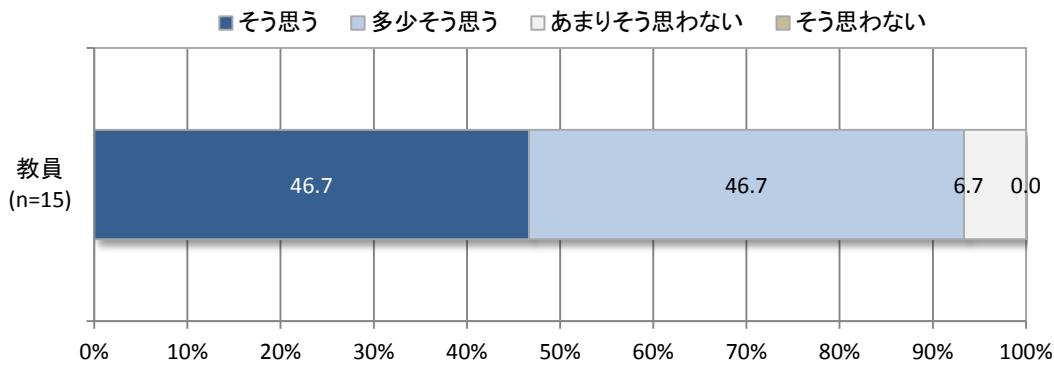
⑪ 時間を意識した生活の指導



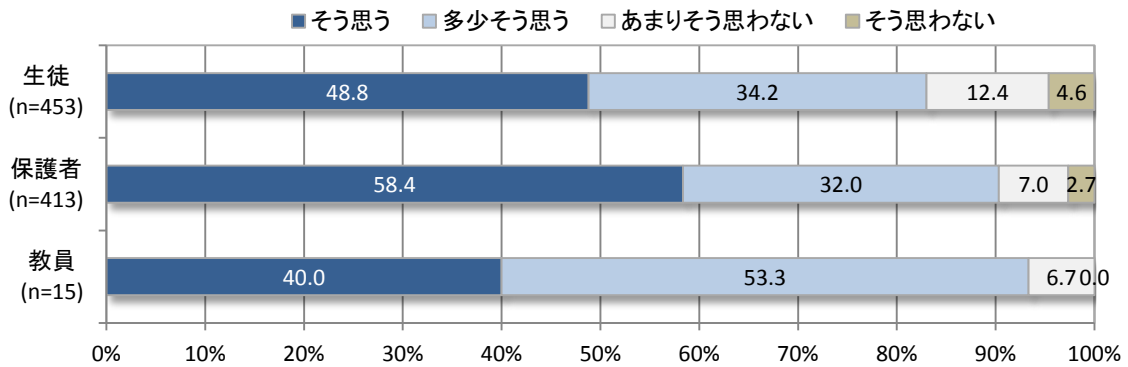
⑫ 学校にふさわしい服装の指導



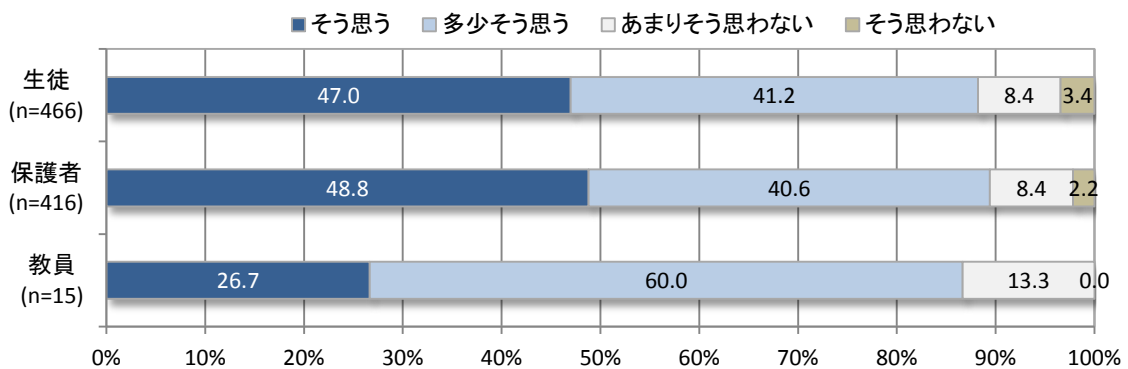
⑬ 教室などの整理整頓の指導



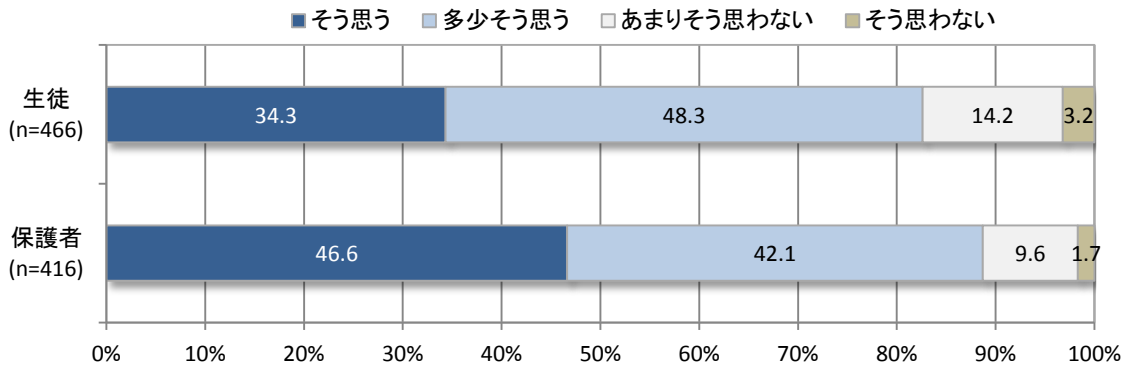
⑭ 学校への誇り（教員は本校の教育目標の理解） (p<0.05)



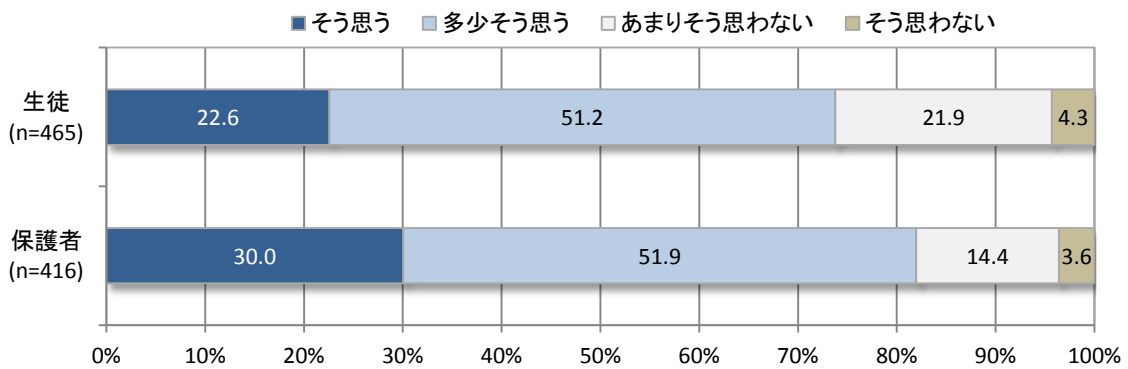
⑮ 興味関心（教員は指導目標） (p<0.05)



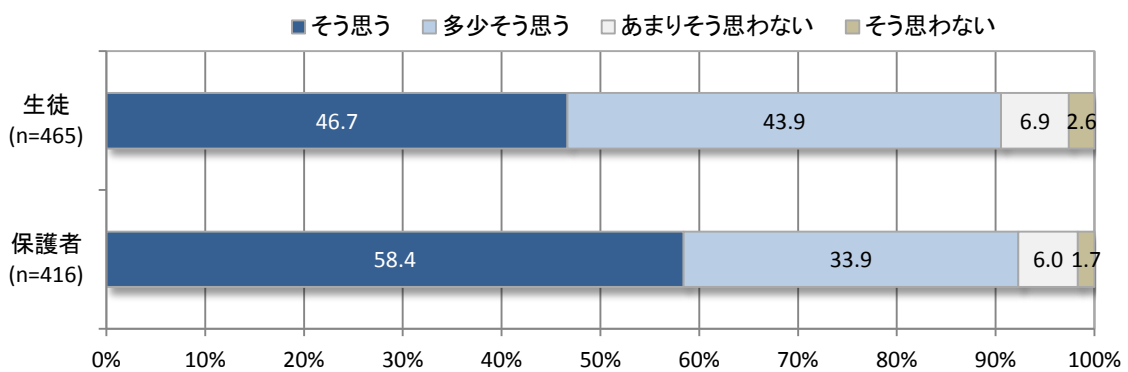
⑩ 生徒の認め合い



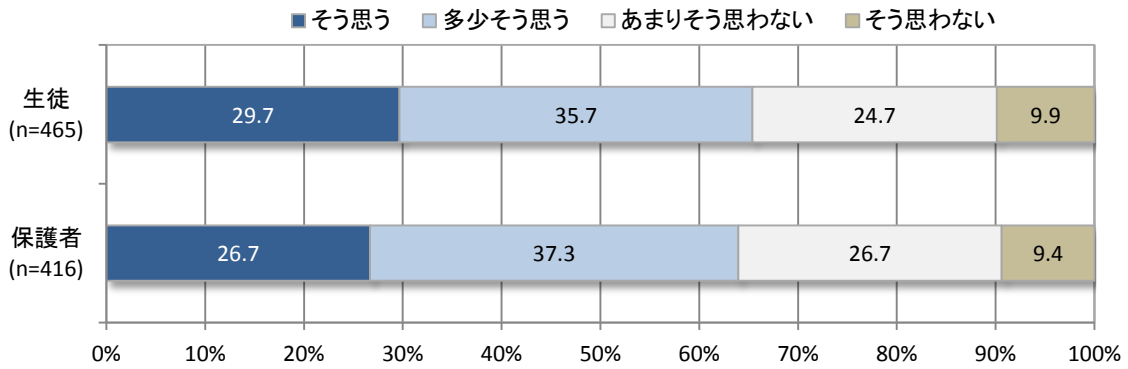
⑪ 教師と生徒の信頼



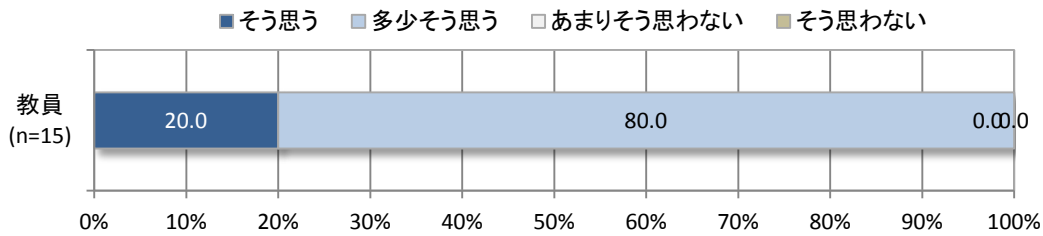
⑫ ふさわしい環境



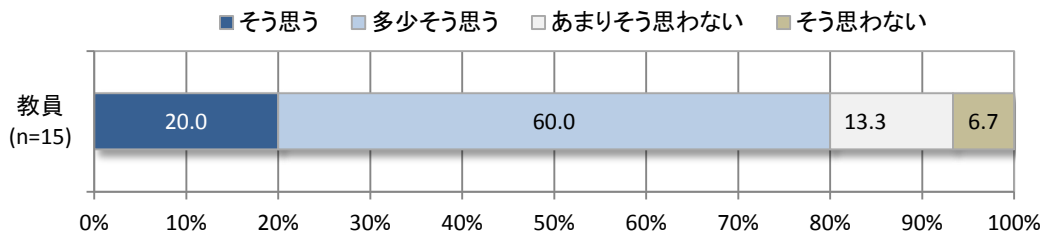
⑩ 目標と努力



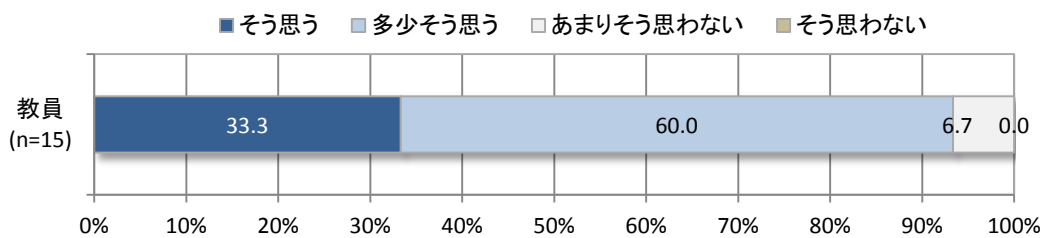
⑪ 保護者に自信を持って対応しているか (教員)



21 職場環境を良くするために努めているか (教員)

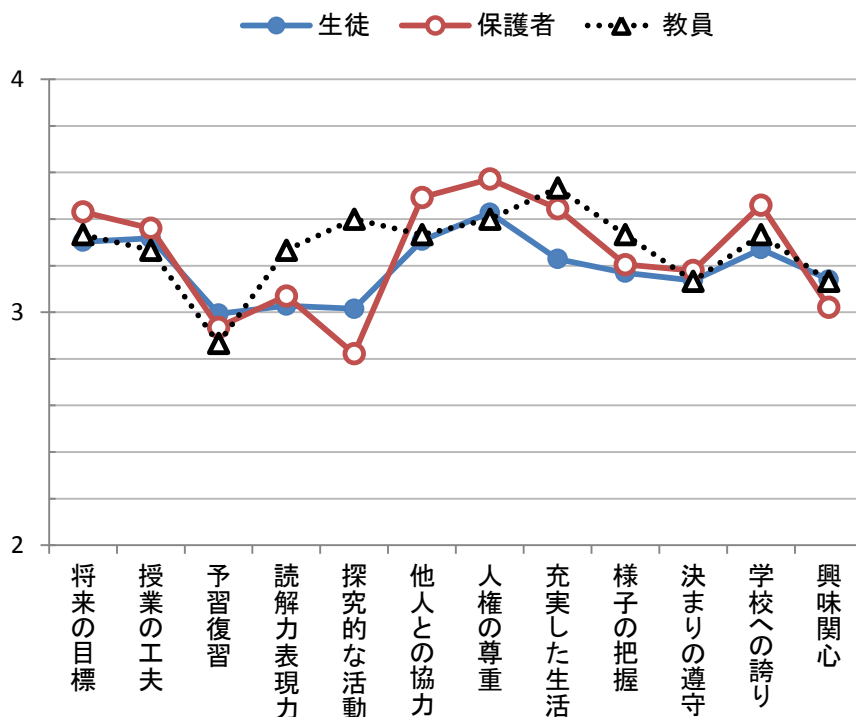


22 熱意をもって日々の仕事に取り組んでいるか (教員)



(4) 学校生活にかかわる自己評価の比較

① 生徒，保護者，教員間比較



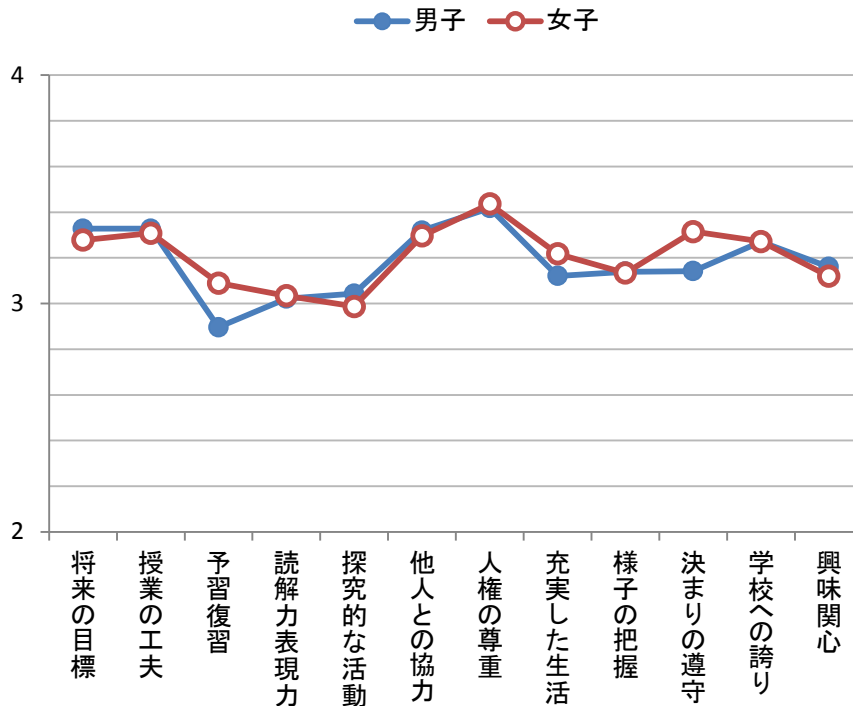
項目	生徒	保護者	教員	F 値	有意水準	多重比較		
将来の目標	3.30	3.43	3.33	3.09	p<0.05	保護者>生徒		
授業の工夫	3.32	3.36	3.27	0.42				
予習復習	2.99	2.94	2.87	0.53				
読解力表現力	3.03	3.07	3.27	0.95				
探究的な活動	3.02	2.82	3.40	8.27	p<0.01	生徒>保護者	教員>保護者	
他人との協力	3.31	3.49	3.33	7.05	p<0.01	保護者>生徒		
人権の尊重	3.43	3.57	3.40	5.22	p<0.01	保護者>生徒		
充実した生活	3.23	3.44	3.53	9.46	p<0.01	保護者>生徒		
様子の把握	3.17	3.20	3.33	0.40				
決まりの遵守	3.14	3.18	3.13	0.22				
学校への誇り	3.27	3.46	3.33	6.03	p<0.01	保護者>生徒		
興味関心	3.14	3.02	3.13	2.52				

「将来の目標」から「興味を持って授業を受けている（指導目標を理解している）」までの12項目に対する回答（1：そう思わない，2：あまりそう思わない，3：多少そう思う，4：そう思う）を比率尺度とみなして，生徒，保護者，教員の各項目に対する回答の平均を算出し，平均の差の推計に一要因分散分析を施した。多重比較には **tukey** の法を用いた。

その結果，「将来の目標」を始め6項目に有意差が認められた。その多くは保護者のポイントが高いが，「探究的な活動」は保護者より生徒，教員のポイントが高かった。探究的な活動が保護者に見えにくくなっていると考えられる。

包括的にポイントを比較すると，「予習復習」，「決まりの遵守」といった基本的な生活に関わる項目にポイントが絶対的に低いことがわかる。

② 生徒の性別による比較

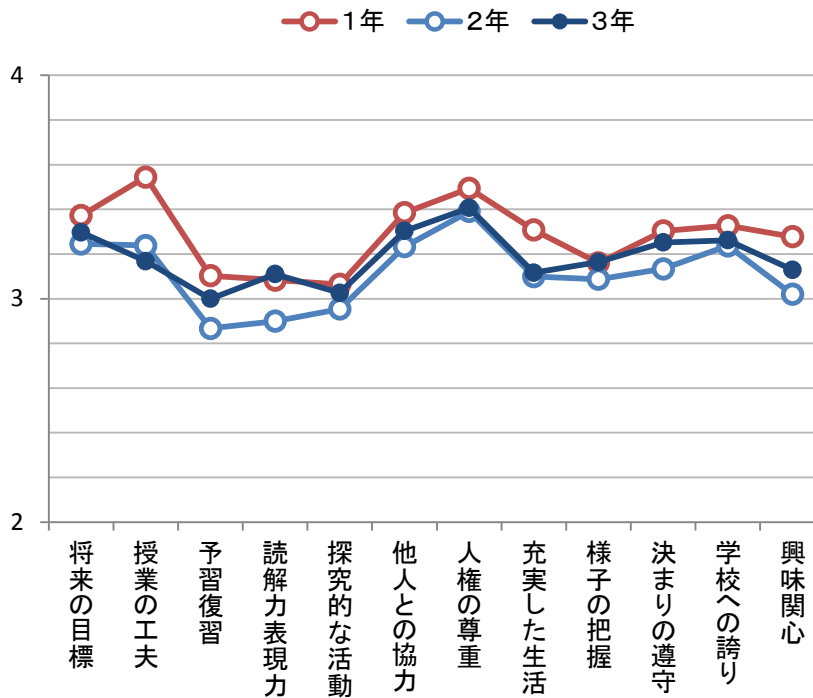


	男子	女子	t 値	有意水準
将来の目標	3.33	3.28	0.719	
授業の工夫	3.33	3.31	0.279	
予習復習	2.90	3.09	2.374	p<0.05
読解力表現力	3.02	3.03	0.175	
探究的な活動	3.04	2.99	0.757	
他人との協力	3.32	3.30	0.326	
人権の尊重	3.42	3.44	0.267	
充実した生活	3.12	3.22	1.173	
様子の把握	3.14	3.13	0.059	
決まりの遵守	3.14	3.31	2.342	p<0.05
学校への誇り	3.27	3.27	0.010	
興味関心	3.16	3.12	0.598	

生徒の性別ごとに、「将来の目標」から「興味関心を持って授業を受けている」までの12項目に対する回答（1：そう思わない，2：あまりそう思わない，3：多少そう思う，4：そう思う）を比率尺度とみなして平均を算出し，平均の差の推計のために対応のないt検定を施した。

その結果，「予習復習」，「決まりの遵守」の2項目で性差を認めることができた。有意差の認められたいずれの項目においても，女子のポイントが男子より高いという結果となっている。これらは基本的な生活に関わる項目であるので，そのような点についての性差が現れたと考えられる。

③ 生徒の学年による比較



	1年	2年	3年	F値	有意水準	多重比較		
将来の目標	3.37	3.25	3.30	1.117				
授業の工夫	3.54	3.24	3.17	10.947	p<0.01	1年>3年	1年>2年	
予習復習	3.10	2.87	3.00	2.724				
読解力表現力	3.08	2.90	3.11	3.428				
探究的な活動	3.06	2.95	3.03	0.750				
他人との協力	3.38	3.23	3.30	1.531				
人権の尊重	3.49	3.39	3.41	0.914				
充実した生活	3.31	3.10	3.12	2.625				
様子の把握	3.16	3.09	3.16	0.276				
決まりの遵守	3.30	3.13	3.25	1.808				
学校への誇り	3.33	3.24	3.26	0.451				
興味関心	3.28	3.02	3.13	4.857	p<0.05	1年>2年		

「将来の目標」から「興味関心を持って授業を受けている」までの12項目に対する回答（1：そう思わない，2：あまりそう思わない，3：多少そう思う，4：そう思う）を比率尺度とみなして，各学年の生徒の各項目に対する回答の平均を算出し，平均の差の推計に一要因分散分析を施し多重比較には *tukey* の法を用いた。

その結果，「授業の工夫」，「興味関心」の2項目で有意差が認められた。多重比較の結果，1年が高く，1年生に対する授業の工夫が有効に成果として現れていることが見て取れた。総じては，1年生のポイントが高く2年生のポイントが低い傾向が見て取れた。

④ 生徒の学年毎の組別比較

1年

項目	1組	2組	3組	4組	標準偏差
将来の目標	3.43	3.34	3.34	3.38	0.03
探究的な活動	3.53	3.54	3.53	3.54	0.01
読解力表現力	3.23	3.27	3.18	2.81	0.18
授業の工夫	3.10	3.10	3.16	3.03	0.05
予習復習	3.23	3.20	3.11	2.70	0.21
他人との協力	3.43	3.32	3.39	3.46	0.05
人権の尊重	3.53	3.46	3.50	3.46	0.03
決まりの遵守	3.48	3.24	3.42	3.08	0.16
充実した生活	3.35	3.12	3.24	3.00	0.13
様子の把握	3.38	3.51	3.24	3.08	0.16
学校への誇り	3.46	3.38	3.19	3.30	0.10
興味関心	3.45	3.41	3.18	3.08	0.15

2年

項目	1組	2組	3組	4組	標準偏差
将来の目標	3.31	3.24	3.45	3.14	0.11
探究的な活動	3.47	3.24	3.15	3.19	0.13
読解力表現力	2.92	2.97	2.98	2.73	0.10
授業の工夫	2.97	3.11	2.92	2.84	0.10
予習復習	3.08	2.97	3.08	2.89	0.08
他人との協力	3.37	3.14	3.28	3.22	0.09
人権の尊重	3.56	3.47	3.33	3.27	0.11
決まりの遵守	3.17	3.16	3.15	3.14	0.01
充実した生活	3.20	3.19	3.15	2.89	0.13
様子の把握	3.25	3.16	3.28	2.92	0.14
学校への誇り	3.40	3.25	3.28	3.14	0.09
興味関心	3.25	3.16	3.00	2.86	0.15

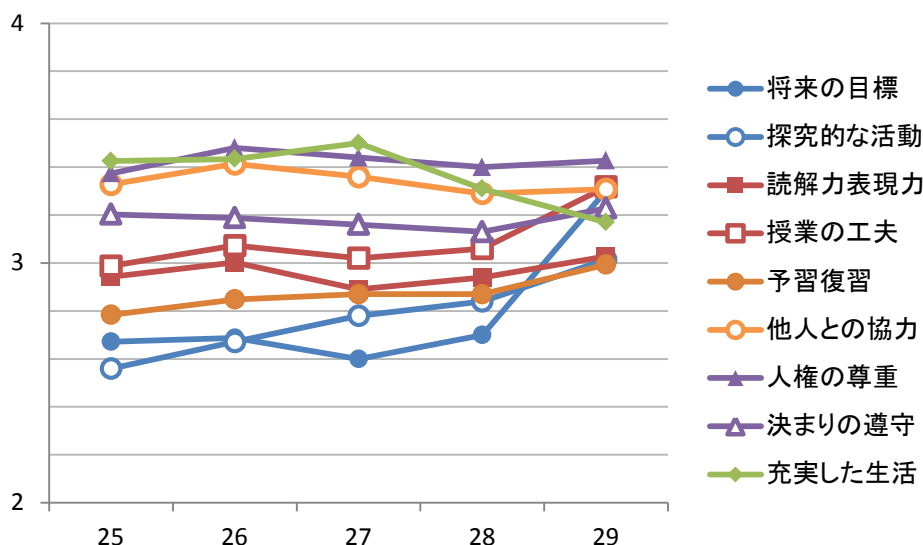
3年

項目	1組	2組	3組	4組	標準偏差
将来の目標	3.24	3.18	3.38	3.37	0.08
探究的な活動	3.24	3.00	3.05	3.32	0.13
読解力表現力	2.89	2.74	2.97	3.29	0.20
授業の工夫	3.00	3.00	3.00	3.26	0.11
予習復習	2.89	3.00	3.00	2.97	0.04
他人との協力	3.24	3.15	3.33	3.50	0.13
人権の尊重	3.34	3.28	3.48	3.53	0.10
決まりの遵守	3.11	3.00	2.93	3.26	0.13
充実した生活	3.05	3.10	3.13	3.08	0.03
様子の把握	3.21	3.05	3.20	3.50	0.16
学校への誇り	3.30	3.13	3.31	3.34	0.08
興味関心	3.13	3.00	3.03	3.24	0.09

「将来の目標」から「興味関心を持って授業を受けている」までの12項目に対する回答（1：そう思わない，2：あまりそう思わない，3：多少そう思う，4：そう思う）を比率尺度とみなして，各学年のクラスごとに各項目に対する回答の平均値と標準偏差を算出した。なお，1～4組は，A～D組には対応しておらず，任意に組み替えを行った。その結果，1年生では「予習復習」にクラス間の偏差が認められ，3学年を通じては，「様子の把握」が比較的クラス間の偏差が大きかった。

(5) 調査項目に対する回答の年度推移

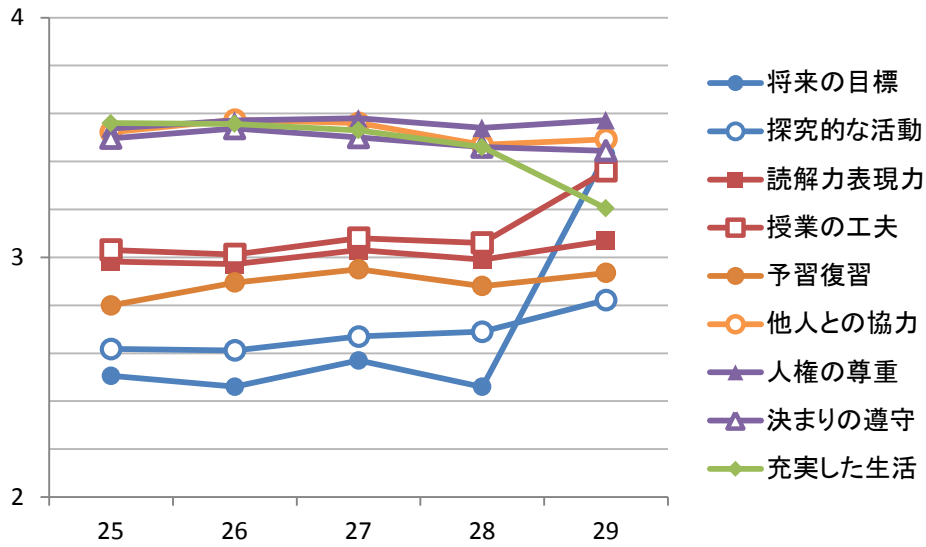
○生徒全体



生徒

年度	平成 25 年度			平成 25 年度			平成 27 年度			平成 28 年度			平成 29 年度		
	項目	度数	平均	標準偏差	度数	平均	標準偏差	度数	平均	標準偏差	度数	平均	標準偏差	度数	平均
将来の目標	469	2.67	0.85	468	2.69	0.84	477	2.60	0.90	463	2.70	0.90	466	3.30	0.75
探究的な活動	468	2.56	0.75	468	2.67	0.76	477	2.78	0.77	461	2.84	0.79	465	3.02	0.80
読解力表現力	469	2.94	0.68	468	3.00	0.73	477	2.89	0.76	462	2.94	0.78	464	3.03	0.76
授業の工夫	469	2.99	0.73	466	3.07	0.78	477	3.02	0.78	463	3.06	0.78	466	3.32	0.77
予習復習	468	2.78	0.85	468	2.85	0.86	477	2.87	0.92	463	2.87	0.90	465	2.99	0.89
他人との協力	467	3.33	0.69	465	3.41	0.68	476	3.36	0.74	462	3.29	0.79	465	3.31	0.75
人権の尊重	468	3.37	0.67	468	3.48	0.67	475	3.44	0.68	462	3.40	0.74	466	3.43	0.72
決まりの遵守	468	3.20	0.73	468	3.19	0.78	475	3.16	0.75	463	3.13	0.80	464	3.23	0.80
充実した生活	466	3.42	0.78	463	3.43	0.77	471	3.50	0.78	462	3.31	0.87	466	3.17	0.90

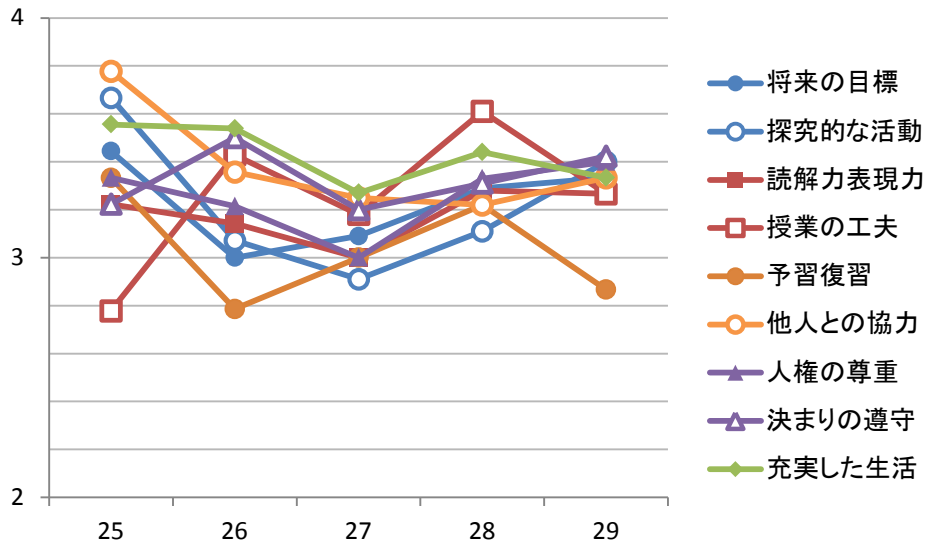
○保護者



保護者

年度	平成 25 年度			平成 25 年度			平成 27 年度			平成 28 年度			平成 29 年度		
	度数	平均	標準偏差	度数	平均	標準偏差	度数	平均	標準偏差	度数	平均	標準偏差	度数	平均	標準偏差
将来の目標	453	2.51	0.94	417	2.46	0.97	420	2.57	1.01	433	2.46	0.95	416	3.43	0.78
探究的な活動	453	2.62	0.91	417	2.61	0.86	422	2.67	0.88	432	2.69	0.91	416	2.82	0.88
読解力表現力	453	2.98	0.80	417	2.97	0.83	419	3.03	0.78	432	2.99	0.81	416	3.07	0.74
授業の工夫	452	3.03	0.82	417	3.01	0.83	421	3.08	0.82	433	3.06	0.82	416	3.36	0.73
予習復習	453	2.80	1.00	417	2.89	0.95	416	2.95	0.95	433	2.88	0.97	416	2.94	0.95
他人との協力	452	3.52	0.63	417	3.57	0.62	421	3.56	0.60	433	3.47	0.73	416	3.49	0.70
人権の尊重	452	3.54	0.63	417	3.57	0.58	417	3.58	0.60	432	3.54	0.65	416	3.57	0.62
決まりの遵守	451	3.50	0.66	417	3.54	0.62	420	3.50	0.69	433	3.46	0.69	416	3.44	0.72
充実した生活	448	3.56	0.67	415	3.56	0.70	418	3.53	0.74	433	3.46	0.69	416	3.20	0.81

○教員



教員

年度	平成 25 年度			平成 25 年度			平成 27 年度			平成 28 年度			平成 29 年度		
	度数	平均	標準偏差	度数	平均	標準偏差	度数	平均	標準偏差	度数	平均	標準偏差	度数	平均	標準偏差
将来の目標	9	3.44	0.88	14	3.00	0.88	11	3.09	0.70	17	3.29	0.59	15	3.33	0.47
探究的な活動	9	3.67	0.71	14	3.07	0.62	11	2.91	0.70	18	3.11	0.83	15	3.40	0.49
読解力表現力	9	3.22	0.67	14	3.14	0.53	11	3.00	0.78	18	3.28	0.90	15	3.27	0.77
授業の工夫	9	2.78	0.83	14	3.43	0.51	11	3.18	0.98	18	3.61	0.61	15	3.27	0.68
予習復習	9	3.33	0.71	14	2.79	1.05	9	3.00	0.71	18	3.22	0.67	15	2.87	0.81
他人との協力	9	3.78	0.44	14	3.36	0.50	8	3.25	0.71	18	3.22	0.88	15	3.33	0.79
人権の尊重	9	3.33	0.50	14	3.21	0.70	10	3.00	0.82	18	3.33	0.69	15	3.40	0.80
決まりの遵守	9	3.22	0.83	14	3.50	0.64	11	3.20	0.69	18	3.31	0.60	15	3.42	0.61
充実した生活	9	3.56	0.53	13	3.54	0.52	11	3.27	0.65	18	3.44	0.71	15	3.33	0.60